

福祉

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
福祉	社会福祉基礎	2	2年次・C1群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
社会福祉基礎 （実教出版）		介護福祉士実務者研修テキスト第1巻 「人間と社会」（中央法規）		福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技術	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点	
学 習 の 1 年 間 計 画	第1編 社会福祉 の理念と 意義	第1章 生活と福祉	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本の人口の推移とそれに伴う社会福祉の課題について理解する。 産業構造の変化や地域社会の変化について理解する。 家族の多様化と働き方の変化について理解する。 疾病構造の変化が医療に及ぼす影響と健康増進の取り組みについて理解する。 人の一生に社会福祉がさまざまな形で関わっていることを理解する。 	2	
		1 少子高齢化と人口減少に向かう日本			2	
		2 産業と地域社会			1 2	
		3 家族と働き方の変化			1 2	
		4 疾病構造の変化			1 2 3	
		5 人の一生と社会福祉	2			
		第2章 社会福祉の理念	5		<ul style="list-style-type: none"> 福祉の基礎となる理念について理解する。 日本国憲法の人権規定と社会福祉との関わりについて理解する。 地域社会と社会福祉との関わりについて理解する。 基本的価値としての人間の尊厳について理解する。 自立生活支援の考え方と今後の展望について理解する。 新たな福祉社会と求められる担い手や活動について理解する。 	2
		1 現代の福祉理念				2
		2 日本国憲法と社会福祉				1 2 3
		3 地域生活と社会福祉				2 3
	第3章 人間の尊厳と新たな福祉社会の創造	1 2 3				
	1 人間としての尊重	1 2 3				
	2 自立支援生活	1 2 3				
	3 新たな社会福祉の構築に向けて	1 2 3				
第2編 社会福祉 の歴史と 次代の展 望	第1章 諸外国における社会福祉	6	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉の歴史の流れを理解する。 イギリスの福祉国家の誕生の流れを理解する。 イギリスの福祉国家の危機と改革の歴史を理解する。 アメリカの社会福祉の歴史と特徴を理解する。 北欧の社会福祉の歴史と理念について理解する。 ドイツとフランスの社会保障の歴史を理解する。 アジア諸国の社会福祉の歴史と課題について理解する。 	1		
	1 社会福祉の歴史			1		
	2 イギリスにおける社会福祉の発展（1）福祉国家の登場とあゆみ			1		
	3 イギリスにおける社会福祉の発展（2）福祉国家の再編と改革			1 2		
4 アメリカにおける社会福祉の発展	1					
5 北欧の社会福祉（スウェーデン、デンマーク）	1 2					
6 ヨーロッパ大陸諸国の社会保障（ドイツ、フランス）	1					
7 アジアの少子高齢化と社会福祉の課題	7	1 2 3				

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

2 学 期	第2編 社会福祉 の歴史と 次代の展 望	第2章 日本における社会福祉 1 近代社会福祉の黎明期 2 社会事業の成立と発展 3 戦時厚生事業による福祉対策 4 戦後対策としての社会福祉の構築 5 高度経済成長期と社会保障・社会福祉の拡充 6 新世紀に向けた福祉改革と介護保険の導入 7 子ども・家庭支援のさらなる充実をめざして 8 障害者福祉のさらなる充実をめざして 9 次代に向けた新たな社会福祉の挑戦	9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・慈善事業が生まれた社会背景について理解する。 ・社会事業が生まれた社会背景について理解する。 ・第二次世界大戦が後の社会保障の基礎を作った経緯を理解する。 ・戦後の社会福祉制度の構築の過程と理念について理解する。 ・国民年金・皆保険の成立、福祉六法体制の確立の背景を理解する。 ・在宅福祉の充実をめざす福祉改革の背景を理解する。 ・子ども・家庭支援施策の拡充の歩みを理解する。 ・障害者施策の拡充の歩みを理解する。 ・近年の福祉の大きな変化と今後の福祉社会のあり方について理解する。 	1 2 2 1 1 1 2 1 1 1 1 2 3 1 1 1 2 3 1 1 1 2 1 1 1 1 3	
	第3編 生活を支 える社会 福祉・社 会保障制 度	第1章 社会保障制度の意義と役割 1 社会保障制度の意義と役割 2 社会保障の各制度の概要 3 社会保障制度を推進する機関 第2章 子ども家庭福祉 1 少子化時代の子ども子育て支援 2 児童相談所と市町村の役割 3 子ども支援と保育 4 子どものすこやかな成長に向けて 5 子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 6 社会的養護と児童虐待への対応 7 障害のある子どもへの支援 8 子どもの権利と子ども家庭福祉	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の基本的な考え方について理解する。 ・社会保障の各制度の基本的な内容について理解する。 ・社会保障制度を推進する機関とその役割について理解する。 ・戦後にできた児童福祉法から、現代社会の子育て支援までの推移を理解する。 ・児童相談所と市町村の役割と機能、地域社会の関わりについて理解する。 ・保育所の歴史と現代の保育所の課題について理解する。 ・不登校や非行の傾向とその対応策について理解する。 ・子どもの貧困やそれに対する支援について理解する。 ・社会的養護のしくみや児童虐待について、その傾向と共に理解する。 ・障害のある子どものための法律と福祉サービスについて理解する。 ・子どもの権利条約の内容と社会への影響について理解する。 	1 1 1 2 3 1 1 1 2 1 1 1 1 1 3	
	3 学 期	第3編 生活を支 える社会 福祉・社 会保障制 度	第3章 障害者福祉 1 障害者福祉とは 2 障害の社会モデルと I C F 3 障害者の現状と生活のしづらさ 4 障害者福祉の理念 5 障害者福祉を支える法制度 6 身体障害者の現状と支援 7 知的障害者の現状と支援 8 精神障害者の現状と支援 9 発達障害者の現状と支援 10 障害者総合支援法の現状と課題 11 障害者福祉の今後のあり方	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者基本法における障害者の定義について理解する。 ・社会モデルの考え方と I C F の構造を関連づけて理解する。 ・日本の障害者数と障害者の生活のしづらさについて理解する。 ・障害者福祉の理念について理解する。 ・障害者福祉関連法の基本的な内容について理解する。 ・身体障害者の定義と必要な支援について理解する。 ・知的障害者の定義と必要な支援について理解する。 ・精神障害者の定義と必要な支援について理解する。 ・発達障害者の定義と必要な支援について理解する。 ・障害者総合支援法による福祉サービスの種類や手続きなどについて理解する。 ・障害者福祉の最近の動向をふまえ、共生社会のあり方について考察する。 	2 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 3

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

観点	1. 知識・技術	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
学習評価	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容を適切に活用し、表現できているか。 ○学習内容を関連付けて考えることができているか。 ○福祉的な見方や考え方をもとに、課題の設定や考察、表現ができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○積極的に課題解決に向けて取り組んでいるか。 ○豊かな福祉社会の創造と発展のために主体的・協働的に取り組んでいるか。
	手 段	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、課題、レポート ・小テスト、定期考査などの試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、課題、レポート ・授業中の取組状況の観察 ・小テスト、定期考査などの試験
単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物は内容を確認し、できていることを確認して期日厳守で提出すること。 ・学習内容には実務者研修の内容を含む。 ・外部の介護専門職による講義がある。 		